

# 平成 20 年度の大型クラゲ出現状況

(有害生物出現調査及び情報提供委託事業)

向井哲也・福井克也・村山達朗

## 1. 洋上分布調査

### (1) 調査方法

平成 20 年 8 月 26 日～8 月 28 日にかけて調査船「島根丸」により LC ネットを使用し大型クラゲを採集した。調査定点は図 1 のとおりである。調査に用いた LC ネットは網口の幅×高さが 10m×10m で、曳網方法は下記のとおりである。

- 1) 水深が 150m よりも深い場合、LC ネットを水深 50m まで沈めた後、斜め曳きを実施する。水深が 150m よりも浅い場合には、おおむね海底から 20m 上まで沈める。ワープの巻き上げ速度を毎秒 0.3m、その際の船速を 2～2.5 ノットとする。
- 2) LC ネットを予定水深まで沈めた後、ワープの繰り出しをストップし、1 分間曳網する。
- 3) 1 分間の曳網の後は巻き上げを開始し、LC ネットを船上に揚収する。

### (2) 結果

どの調査地点でも大型クラゲ（エチゼンクラゲ）は全く採集されなかった。また、停船時の目視でも大型クラゲは全く認められなかった。ただし、傘径 20～30cm のユウレイクラゲは各調査定点で平均 1 個程度採集された。

## 2. 洋上目視調査

### (1) 調査方法

調査船「島根丸」により船上から目視による観察を行なうとともに、水温、塩分等の海洋観測を実施した。調査は 7 月末～12 月に計 5 回実施した。調査定点は図 2 に示すとおりであるが、夜間に通過

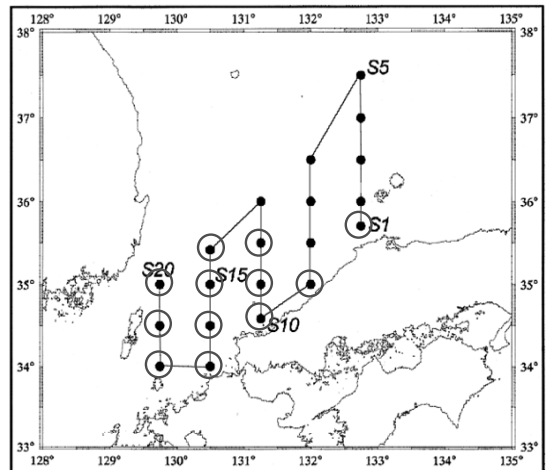


図1 洋上分布調査定点(丸付は水深 150m 以浅)した地点では目視を行っていない。調査は各定点から 2 マイルの距離を航走する間、ブリッジ上両舷から目視された大型クラゲを大(傘径 100cm 以上)、中(傘径 50～100cm 未満)小(傘径 50cm 未満)のサイズ別にそれぞれ計数した。

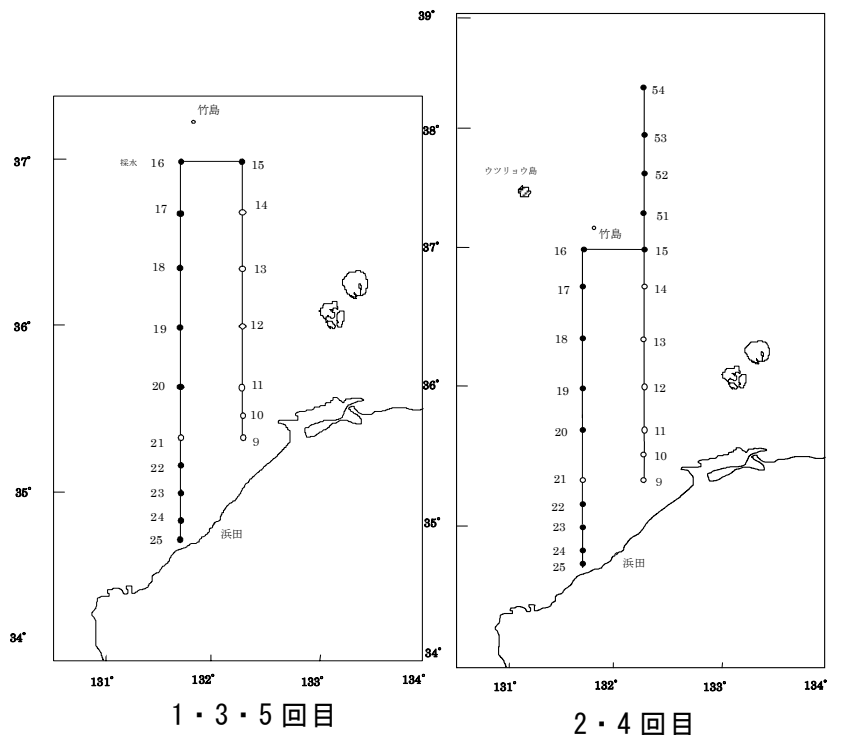


図 2 洋上目視調査定点

## (2) 結果及び考察

いずれの調査においても大型クラゲは全く目視確認できなかった。

### 3. 陸上調査

#### (1) 調査方法

県内主要漁協からの来遊状況の聞き取り、及び定置網漁業、小型底びき網漁業の標本船調査を実施した。来遊状況の聞き取りは平成20年8月～平成21年1月まで実施した。標本船は図3に示すとおり、定置網漁業5ヶ統（浜田市、江津市、出雲市、松江市、西ノ島町）、ならびに小型底びき網漁業3隻（浜田市1隻、大田市1隻、出雲市1隻）に記入を依頼した。定置網では8月から12月までの期間、操業ごとの入網数、大きさ、被害状況、対策実施の有無について記入を依頼した。小型底びき網漁業については、9月から12月までの期間、操業地点ごとの入網数、大きさ、被害状況、対策実施の有無について記入を依頼した。

#### (2) 結果

標本船調査の結果および漁業者からの情報提供、主要漁協からの聞き取り結果から得られた大型クラゲ目視・入網の情報は表1に示す限りであり、平成20年度は大型クラゲの確認数は非常に少ない結果になった。

##### ① 定置網

陸上調査により調査した定置網漁場における大型クラゲの月別入網状況を図4に示す。平成20年は一部の定置網で11月下旬～12月上旬に1日1～4個の入網があっただけで、定置網への大型クラゲの入網は非常に少なかった。最大で3500個/日程度の入網があった平成19年と比べれば、皆無と言ってよい状況であった。なお、9月には浜田の定置網でヒゼンクラゲの入網が1個あった。

##### ② 底びき網

陸上調査により調査した底びき網漁場における大型クラゲの月別入網状況を図5に示す。小型底びき網でも大型クラゲは10月に島根

半島沖で数個の入網が見られただけであり、平成19年のような操業に支障をきたす被害は皆無であった。

なお、標本船調査・聞き取り調査の結果は大型クラゲ被害防止緊急総合対策事業においてJAFICが実施している大型クラゲ出現情報にデータとして提供した。また、大型クラゲ情報としてFAXと水産技術センターホームページにより情報提供を行なった。

### 4. 生物精密調査

9月から12月の間、浜田市の定置網で採捕された大型クラゲの傘径を測定したが、定置網の入網個数が極めて少なかったため、9月にヒゼンクラゲ1個体（傘径47.0cm）、エチゼンクラゲ1個体（傘径80.0cm）を測定したのみとなった。

### 5. 総括

平成20年度は目視情報、入網情報共に非常に少なく、大型クラゲの来遊は極めて少なかったと考えられる。平成20年度は、東シナ海における国際共同調査の結果やJAFICのとりまとめた大型クラゲ入網情報でも確認個体数は全国的に非常に少なかった。おそらくは繁殖海域である東シナ海、黄海での大型クラゲの発生数そのものが極めて少なかったため、日本海への大規模な来遊がなかったものと考えられる。

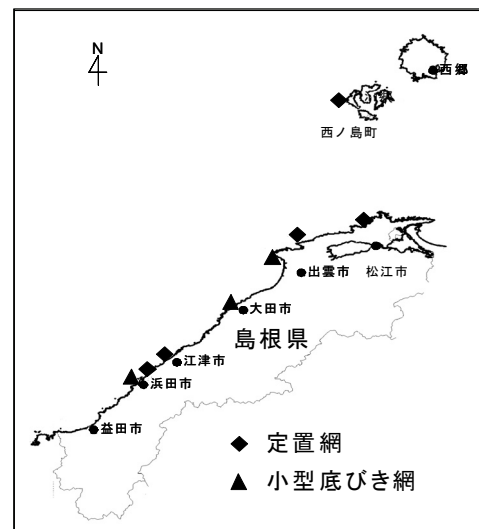


図3 標本船所属地

表1 平成20年度に得られた島根県内の大型クラゲ情報

漁業種類	日時	目撃海域	個体数	サイズ(cm)	備考
一本釣り	2008/9/14	隠岐島南西海域 (西郷岬灯台より220度 ~5マイル)	1	50-60	
定置網	2008/9/24	浜田市地先	1	47	※ヒゼンクラゲ (水産技術センターで同定)
小型底びき網	2008/10/2	島根半島沖	3		
小型底びき網	2008/10/16	島根半島沖	1		死んで崩れかけていた
定置網	2008/11/25	西郷地先	1	大	
定置網	2008/12/1	浜田地先	1	大	バラバラになっていた
定置網	2008/12/2	出雲市(多伎町)地先	4	60cm 1個 30-60cm 3個	
定置網	2008/12/1	江津市地先	1	バラバラのため不明	死がい
	2008/12/2	"	3	50-100cm	弱っている
	2008/12/3	"	1	50cm	弱っている
	2008/12/7	"	2	50-100cm	弱っている、死がい
	2008/12/8	"	3	100-150cm	弱っている
定置網	2008/12/7	浜田市地先	4	50-80cm	

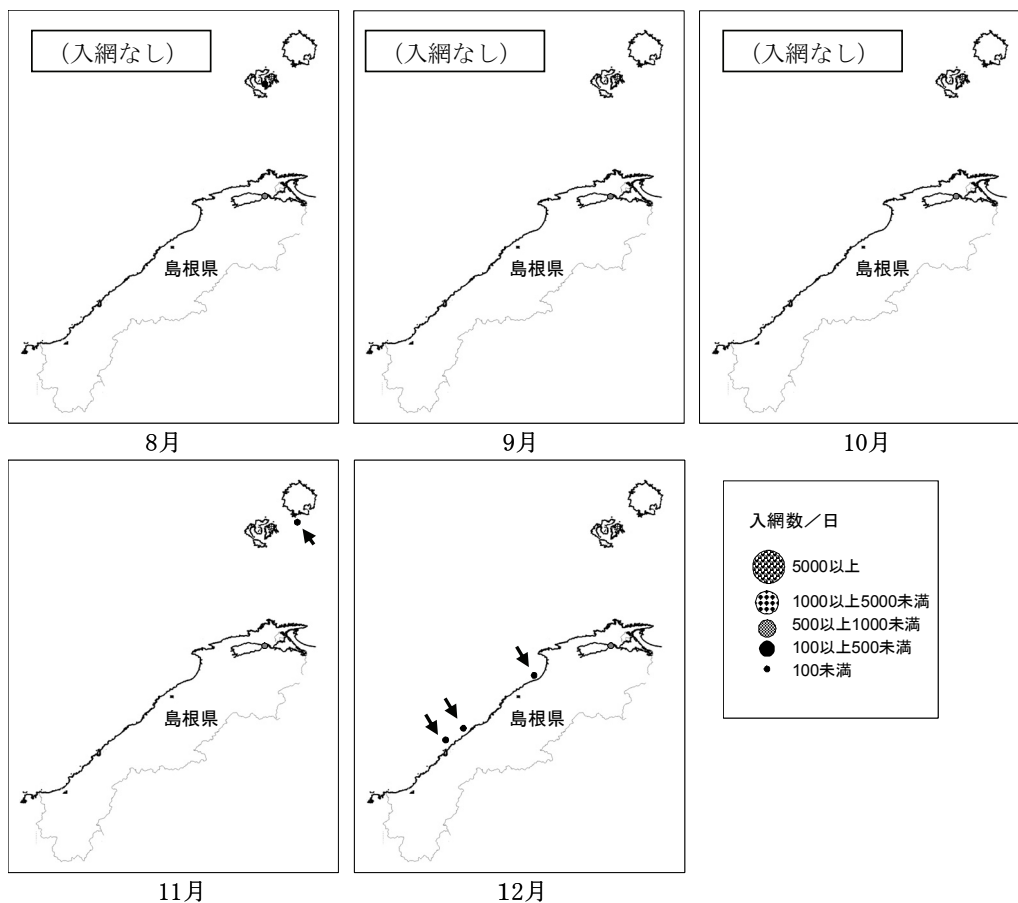
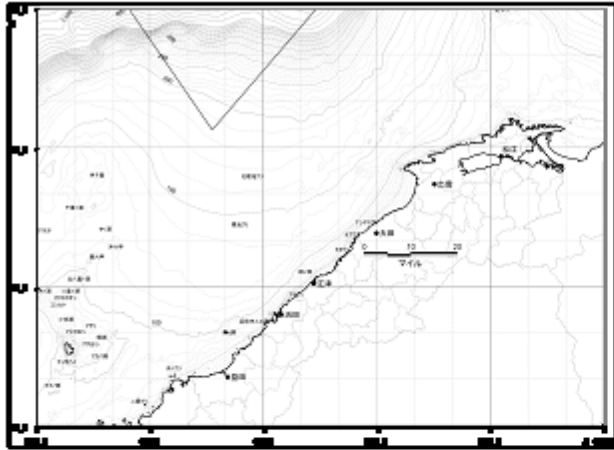
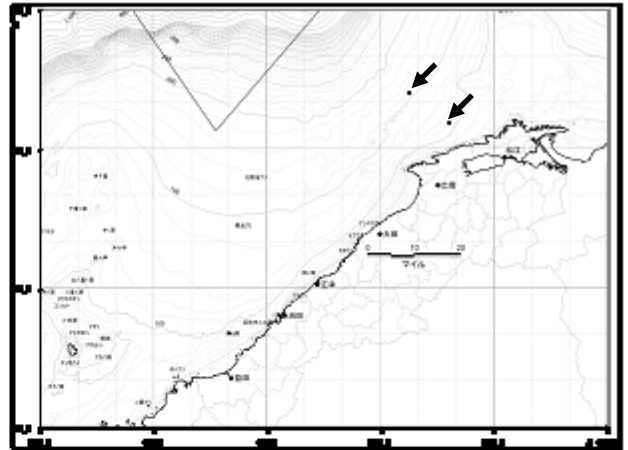


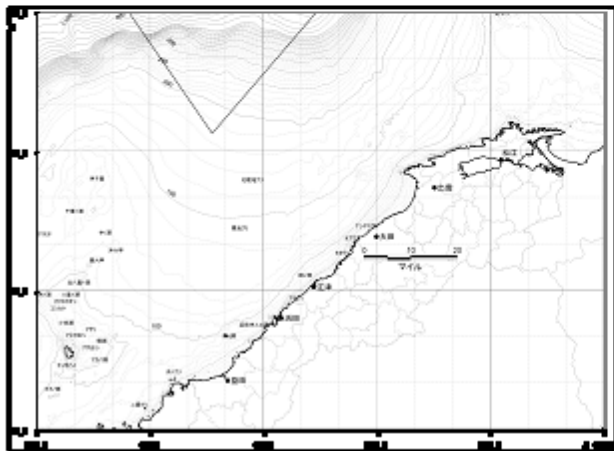
図4 平成20年度の定置網の大型クラゲ入網状況



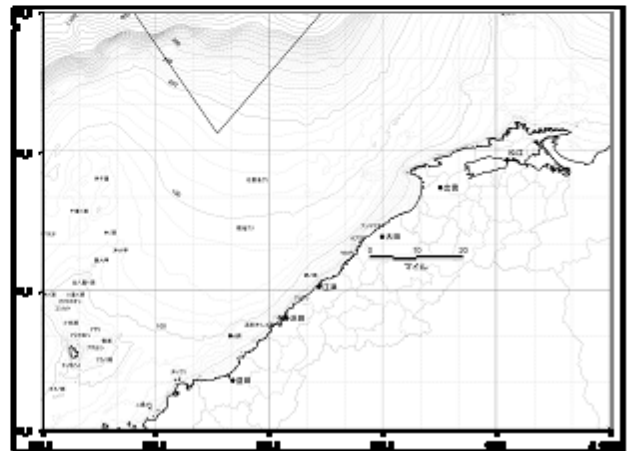
9月



10月



11月



12月

↙ 大型クラゲ入網地点

図 5 平成 20 年度の小型底びき網の大型クラゲ入網状況